

TEL 233 340 000
FAX 224 313 684
Email Jschool@volny.cz

VLTAVA

学校教育目標

「自ら学び 共に学ぶ 豊かな心と国際性あふれる たくましい児童生徒の育成」

目指す子ども像

「かしこい子・やさしい子・たくましい子・世界で生きる子」

目標を立てる 友達と学び合う

校長 齊藤 仁

(11月3日全校朝礼での話)

みなさん、おはようございます。

さて、学習発表会は皆さん本当にご苦労様でした。とてもいい発表会になったと思います。先生は、みんなの練習の時から見ているから、どんどん上手になっていく様子をしっかりと見ることができました。どの学年も劇、歌、合唱を中心に表現をし、4年生はダンスでした。また、中学部は太鼓でオープニングを盛り上げて、小学部、中学部の合唱で最後を締めくくりました。また、中学2年生の司会を始めとして中学部は、準備や片付けなど朝早くから最後まで本当にご苦労様でした。全員が、きっとやり遂げた充実感とほっとした気持ちでいっぱいだと思います。さて、今日は、そんな気持ちを忘れないうちに話したいことがあります。

運動会の閉会式で、先生はこんなことを言いました。覚えていますか。「運動会は終わりましたが、でも本当はまだ終わってはいないのです。」実は、今日もそんなことを言いたいのです。「学習発表会は終わったけれども、実は本当はまだ終わってはいません。」

まず一つ目、自分の目標を立てるということ。自分で努力したこととその結果やり遂げた気持ちでいっぱいではありませんか。たった一つのセリフやたった一つの演技でも、よくしようと思えばいくらでもよくなっていきます。それは、自分でやる気になれば、いくらでも努力できるということです。毎日の勉強でも、スポーツでも、習い事でも、まず自分自身のしっかりとした目標を自分で持つということが何よりも大切です。どんなに努力しても本番は

緊張しますから、本番でうまくいかなかった人もいるんじゃないかな。でも、いいんです、大切なのは結果じゃなくて、自分が立てた目標に向かって誠実に努力したというプロセスが大切なんです。

二つ目、友達といつも学びあうということ。演技も、ダンスも、合唱も、みんなでやっているうちに、友達の演技や友達のダンス、友達の歌声が聞こえてきたのではないですか。それは、いいものを作ろうとすると、仲間の動きや声が見えてきたり、聞こえてきたりするのです。実はこれはとても大切なことです。自分だけで頑張るのではなく、仲間と一緒に頑張るということです。そして、その時に大切なのは、まず仲間のいろいろな良さが見えたでしょうか。たぶん、それが続くと仲間への感謝の気持ちがわいてきます。「ありがとう」って気持ちが自然にわいてきませんでしたか。そして、もっと仲間といっしょに頑張りあえると、仲間を「誇り」に思う気持ちが生まれてきます。先生も、みなさんの頑張りを誇りに思っています。いつも、前向きに努力を重ねる気持ちを、学習発表会から学んで、さらにそれを毎日の生活でも続けていってください。

つまり、自分の目標を立てるということ、友達といつも学びあうということ、この二つは行事でも授業でも続いています。だから、行事が終わっても終わってはいないのです。

最後に、この学習発表会で、よく聞こえてきた声は、『笑顔』です。笑顔を大切にしてください。笑顔は、海外で生活し、人々の心をつないでいくうえで最も大切なテーマだと思っているからです。